

## 九州高等学校文化連盟

# 第36回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会 宮崎大会 実施要項

### 1. 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて九州地区における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

### 2. ねらい

- ア. 美しく豊かな日本語を大切にできる心情を育て、あわせて、話す力、表現する力を高める。
- イ. 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- ウ. 学校生活の中にうるおいをもたらす、心のふれあいの場をつくる。
- エ. 現代社会における人としてのあり方、生き方を学ぶとともに、放送のはたす役割を考える。
- オ. 九州地区における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。

3. 主催 九州高等学校文化連盟 宮崎県高等学校文化連盟

4. 共催 NHK宮崎放送局

5. 主管 九州高等学校文化連盟放送専門部 宮崎県高等学校文化連盟 放送専門部

6. 後援 宮崎県教育委員会 宮崎日日新聞社 MR T宮崎放送 UMKテレビ宮崎 (予定)

7. 大会会場 メディキット県民文化センター 演劇ホール・イベントホール他  
〒880-8557 宮崎市船塚3丁目210番地  
TEL 0985-28-3210

### 8. 大会宿舎 (予定)

- ①ホテルスカイタワー 〒880-0812 宮崎市高千穂通2-1-26  
TEL 0985-31-1111
- ②ホテルルートイン宮崎 〒880-0001 宮崎県宮崎市橘通西4-1-27  
TEL 0985-61-1488
- ③ホテルメリージュ 〒880-0805 宮崎県宮崎市橘通東3-1-11  
TEL 0985-26-6666
- ④ホテルマリックス 〒880-0006 宮崎県宮崎市千草町15-8  
TEL 0985-28-6161

### 9. 問い合わせ先

担当 押川 美樹 (宮崎県立本庄高等学校教諭)

〒880-1101

宮崎県東諸県郡国富町大字本庄5071番地

TEL 0985-75-2049 FAX 0985-75-2592

E-mail [m\\_housou@miyazaki-c.ed.jp](mailto:m_housou@miyazaki-c.ed.jp)

事務局長 川畑 恵 (宮崎県立門川高等学校教諭) 放送専門部委員長

〒889-0611

宮崎県東臼杵郡門川町門川尾末2680

TEL 0982-63-1336 FAX 0982-54-9612

## 10. 大会日程

平成26年12月17日（水）～19日（金）

日	時間	概要	会場
17 (水)	13:00～15:00	総合受付	メイキット文化会館演劇ホール2Fホワイエ
	14:30～16:00	運営委員会	〃 1F和室
	16:30～17:00	開会行事 ・開会のことば ・主催者挨拶 ・来賓挨拶 ・諸連絡	〃 演劇ホール
	17:30～18:30	審査委員会	〃 1F和室
18 (木)	9:00～ 9:30	出場受付	
		アナウンス	メイキット文化会館演劇ホール2Fホワイエ
		ラジオ番組	〃
		テレビ番組	〃
	9:50～13:00	アナウンス部門準決勝	メイキット文化会館イベントホール
	10:20～17:00	ラジオ番組部門準決勝	メイキット文化会館B1大練習室1・中練4
	9:50～17:10	テレビ番組部門準決勝	メイキット文化会館演劇ホール
	12:20～12:50	朗読部門出場受付	メイキット文化会館演劇ホール2Fホワイエ
13:20～17:00	朗読部門準決勝	メイキット文化会館イベントホール	
17:30～18:20	校内放送活動研究集会①	メイキット文化会館演劇ホール	
19:30～21:30	校内放送指導者協議会	ガーデンテラス 宮崎ホテル&リゾート	
19 (金)	7:00～ 8:00	決勝進出者・決勝進出作品発表	※指定宿舎ロビー（HP・FBでも発表）
	9:00～ 9:30	決勝出場受付	メイキット文化会館演劇ホール2Fホワイエ
	9:50～10:50	アナウンス部門決勝	メイキット文化会館イベントホール
	10:00～12:00	ラジオ番組部門決勝	メイキット文化会館B1大練習室1・中練4
	10:00～12:10	テレビ番組部門決勝	メイキット文化会館演劇ホール
	11:00～12:10	朗読部門決勝	メイキット文化会館イベントホール
	12:30～13:10	閉会行事 ・講評（校内放送活動研究集会②） ・成績発表ならびに表彰 ・主催者挨拶 ・次期開催県挨拶（長崎県） ・閉会のことば	メイキット文化会館演劇ホール
	13:10～13:20	諸連絡	

## 11. コンテスト実施各部門ならびにエントリー数

部門	エントリー数	決勝進出数
アナウンス	72名（各県8名 但し開催県と福岡県は12名）	20名程度
朗読	72名（各県8名 但し開催県と福岡県は12名）	20名程度
ラジオ番組	40作品（各県5作品）	10作品
テレビ番組	40作品（各県5作品）	10作品

## 12. 表彰

	アナウンス	朗読	ラジオ番組	テレビ番組
優勝	1名	1名	1作品	1作品
	優勝杯、賞状			
準優勝	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー、賞状			
第3位	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー、賞状			
優良賞	各部門決勝進出17名程度		各部門決勝進出7作品	
	賞状			
奨励賞			各部門5作品程度	
			賞状	
入賞（全参加者）	全エントリー			
	賞状			

## 13. 校内放送活動研究集会

各部門についての講評及び研修と九州各県高校放送部活動の報告などを実施し、文化交流を深める。

## 14. 各部門の課題・参加規定

### (1) アナウンス部門

① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。

② エントリー番号、氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。

※ 学校名は読まず、エントリー番号の後にすぐ氏名を読む。

### ③ 審査基準

(a) 校内放送に使用する内容であること。

(b) 審査の視点

内容

(ア) 素材の選び方は適切であるか。

(イ) 文章表現は適切であるか。

アナウンスの技術

(ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

(イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができているか。

・内容把握 ・イントネーション ・プロミネンス ・アクセント

(ウ) 間(ポーズ)は適切か。

・テンポ ・ポーズ

(エ) 元気があり、明るく演じるものは良いが、歌い上げ・作り声・バスガイド調などの、不自然なアナウンスは高く評価しない。

(c) 採点…点数は100点法で総合的に採点する。

(2) 朗読部門

①次の指定課題4作品から1作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	文・堺雅人2 すこやかな日々	天狗童子	かけら	モーパッサン短篇選
著者名 (訳者名)	堺 雅人	佐藤さとる	青山 七恵	モーパッサン (高山 鉄男)
出版社	文藝春秋(文庫ではない)	講談社文庫	新潮文庫	岩波文庫

②エントリー番号、氏名、作者名、作品名を含め、1分30秒以上、2分00秒以内で朗読する。

※学校名は読まず、エントリー番号に続けて氏名、作者名、作品名を読む。

※作品番号1については、作品名を「すこやかな日々」と読み、章段名は読まない。

※作品番号3・4については、短編名を読み、作品名は読まない。

※作品番号4については、訳者名は読まない。

※抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。一文途中の開始や終了は変更とみなす。本文中の( )内も読むこと。(読み仮名・訳者注を除く)

③審査基準

(a) 審査の視点

内容

(ア) 作品の選定は適当であるか。

(イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

朗読の技術

(ア) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

(イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができているか。

・内容把握 ・イントネーション ・プロミネンス ・アクセント

(ウ) 間(ポーズ)は適切か。

・テンポ ・ポーズ

(エ) ラジオドラマ調、演劇調、一人芝居調などが過度に演出されているものは高く評価しない。

(b) 採点…点数は100点法で総合的に採点する。

(3) アナウンス・朗読に共通する事項

①原稿3部(郵送)…**12月5日(金)必着**

規定用紙を使用し、袋とじ(仕上がりA5判)とする。第1頁を表紙とし、本文は、第2頁以降に記入する。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶすこと。アナウンスは「青」、朗読は「赤」とする。

②提出された原稿は返却しない。

③準決勝・決勝では、各自の原稿の他に、課題原稿を加える。

(4) ラジオ番組部門

①作品は、6分30秒以上、7分00秒以内とする。

②作品提出するメディア(媒体)、データの形式、メディア(媒体)の作成方法は以下のとおりとする。

・CD-R(CD-Audio形式)とする。トラックは1つのみで作成すること。

・バックアップとして、別途CD-R(CD-Audio形式)を提出する。

③番組の最後には「制作は〇〇高等学校放送部(委員会)でした。」というクレジットコールを入れる。

- ④計時は、最初の音から、クレジットコールの終わりまでとする。
- ⑤クレジットコールには、音楽などの他の音声がかぶってはならない。

⑥審査基準

(a) 校内放送に使用する内容であること。

(b) 審査の視点

テーマ（伝えたい内容）

高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

制作技術

(ア) メディアの選択は適切か (イ) 制作方法 (ウ) 取材の方法や努力 (エ) 企画・構成

(オ) 演出・編集 (カ) 音声や効果音の使い方 (キ) 内容伝達力 (ク) 番組進行表の作成

(c) 採点…点数は 100 点法で総合的に採点する。

(5) テレビ番組部門

①作品は、7分30秒以上、8分00秒以内とする。

②作品提出するメディア（媒体）、録画方法、データの形式、メディア（媒体）の作成方法は以下のとおりとする。

(ア) ハイビジョン形式…BD-R（BD-AV形式・MPEG-2 または MPEG-4 AVC/H.264）とする。1080i、720i いずれも可。

・BD-Rは、必ず「クローズ（ファイナライズ）」処理をして追記できないディスクにすること。

(イ) SD形式…DVD-R(DVD-video形式)とする。メニュー（音のないもの）で作品トラックのみを選択再生できるもの、または自動再生させる設定で作成する。

・家庭用ハードディスクレコーダー等で作成されたDVD-videoの場合は、必ず「クローズ（ファイナライズ）」処理（汎用のDVD再生機で再生できる状態）を行うこと。

・アスペクト比は16:9（ワイド）または4:3とする。

※再生（審査用ディスプレイ）は、16:9→フル画面、4:3→左右が黒帯になります。

・規定のテストパターン（本大会ホームページよりダウンロード可）を作品の前後に、5秒間ずつ使用する。

※バックアップは審査用と同じメディアでの提出となります。なお、データの互換性にご留意の上、作成した機器のみでなく市販のプレーヤー等複数の機器で再生できることを確認の上、提出して下さい。

③計時は、テストパターンを除いた部分（本編）についておこなう。

④テレビ局等の第三者が撮影した素材が主である作品は、失格とする。

⑤審査基準

ラジオ番組に同じ。

(6) ラジオ番組・テレビ番組に共通する事項

①高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。

ドラマ調の場合には、出演者は自校生徒に限る。

②番組進行表・作品の提出日

番組進行表1部（郵送）…**12月5日(金)必着**

表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶすこと。ラジオは「赤」、テレビは「青」とする。

作品…**12月17日(水)**に持参し、受付時に提出する。

③提出メディアは、出品作品のみを記録すること。

④提出メディアは、誤録防止のための処置をする。

(例) クローズ（ファイナライズ）処理など。

- ⑤ケースの表に、規定に準じたラベルを貼付する。※自作可能  
 CD-R・DVD-R・BD-R 各メディア本体については、シールを貼らずにディスクに直接、項目（①部門名、②エントリー番号、③県名、④学校名、⑤作品名、⑥メディアの種類、⑦アスペクト比…テレビ番組のみ）を記載する。プリンターで直接印字するか、ペンで手書きをする。バックアップには「バックアップ」と明記する。
- ⑥作品の題名は副題も含めて15文字以内とする（厳守）。  
 ※作品名が英字のみの場合は、半角文字で30文字（スペース含む）まで可とする。
- ⑦作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、確実に著作権、著作隣接権処理を済ませておくこと。特に音楽は、自作自演、もしくは著作権フリーの楽曲を用いるのが望ましい。著作権を伴う著作物については、その一覧を番組進行表末尾に添付する。  
 ※いわゆる著作権フリーの音源素材等であっても、インターネット上のものを利用することは厳禁とする。ただし、NHKクリエイティブライブラリー及び Arky (Free Sound Effect の素材) についてはその限りではない。
- ⑧JASRAC への手続き及び支払いは各校でおこない、その書類の写しを番組進行表末尾に添付し提出する。
- ⑨応募された参加作品の著作権は、制作者（応募した学校）と主催者に共同して帰属する。詳細に関してはNHK杯全国高校放送コンテストの規定に準じる。
- ⑩作品再生前に代表生徒が登壇し、学校名と作品名のみ発表する。
- ⑪番組進行表は、NHK杯に準ずる形で作成し、1部提出する。
- 1 頁…学校名・作品名・タイム・制作意図（200字程度）・スタッフ・キャスト
  - 2 頁…CUEシート  
 必要枚数を綴じ合わせる。
- 最終頁…使用著作物一覧  
 チェック用紙  
 著作権処理確認資料
- ⑫番組進行表に記載した制作意図は、所定の様式（本大会ホームページよりひな形をダウンロード）に各県事務局がまとめて入力して提出する。
- ⑬返却  
 作品・番組進行表は決勝終了時に返却する。

## 15. 参加資格

- ①開催年の12月現在、九州高等学校文化連盟加盟校に在学する生徒（ただし高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く）。また、以上の生徒が制作した作品であること。
- ②各部門への参加は、各県高等学校文化連盟放送専門部の推薦によるものとする。
- ③アナウンス・朗読部門への参加は、1名1部門とする。
- ④番組各部門への参加は1校1作品とする。ただし、各県大会までの参加は1校1作品に限定しない。
- ⑤他のコンテストに出品した作品は参加できない。また、当コンテストに参加した作品を他のコンテスト等へ出品することは認めない。

## 16. 各県からの推薦について（詳細は、事務局宛連絡にてお知らせします）

- ①申込みは各県事務局が一括して本大会実行委員会事務局へ提出する。  
 ※学校・個人からの個別の受付はおこないません。
- ②各県事務局は、送られてきたフォームに必要事項を入力して、**11月28日(金) 17:00**までにメールに添付して提出する。
- ③番組制作意図のデータは、**12月5日(金) 17:00**までにメールに添付して提出する。
- ④推薦には、別紙のエントリー番号を使用する。

## 17. 大会参加費および研修資料代、著作権に関する使用料他

### ①JASRAC への支払い手続きについて

九州大会事務局の一括申請はおこないません。各校（各県）でそれぞれ支払いをおこなってください。

### ②エントリー料

大会参加費及び研修資料代として、全部門とも1名もしくは1作品につき4,000円とします。納入は各県の事務局を通して県単位で一括納入してください。

納入期限：**12月5日（金）** 口座番号：別紙事務局向け文書を参照してください。

### ③宿泊・弁当代等について

本大会の旅行業者は日本旅行宮崎支店です。

旅行業者から別途HP等で案内いたします。案内をご覧になり、各校から直接申し込み及び入金処理をしてください。変更が生じた場合は、旅行業者へ直接ご連絡ください。

### ※諸締切日のまとめ

提出締切日 (必着)	提出するもの	提出方法	
		【郵送又は持参】	【データ添付】
11月28日 (金) 17時	各県からの推薦		○
12月5日 (金) 17時	アナウンス・朗読原稿3部	○(郵送)	
	番組制作意図のデータ		○
	番組進行表1部	○(郵送)	
	エントリー料金納入	指定口座振込	
12月17日 (水) 受付時	番組作品及びバックアップ	○(持参)	

※宿泊・弁当手配は、別途旅行業者から提示される案内に従って申込みを行ってください。

## 18. エントリー番号表

	アナウンス部門	朗読部門	ラジオ番組部門	テレビ番組部門
長 崎	7・12・24 36・40・46 55・64	1・10・20 34・41・48 56・69	7・11・22 31・40	5・15・23 32・38
大 分	3・13・19 30・39・49 60・68	8・14・21 31・36・52 62・66	4・16・24 29・35	8・12・18 30・35
沖 縄	8・17・25 32・44・52 56・66	2・16・26 29・40・46 55・72	5・14・19 32・37	7・16・21 25・40
熊 本	1・15・22 31・37・48 62・71	5・12・19 33・43・53 59・67	2・10・21 25・39	4・13・22 28・33
佐 賀	5・14・26 34・41・50 57・72	7・17・23 27・35・47 57・65	8・12・17 27・33	1・10・19 29・37
鹿児島	2・10・21 29・42・47 58・67	6・13・22 28・38・50 61・71	6・15・23 30・36	2・14・24 31・39
福 岡	6・11・18 23・28・35 43・51・54 59・63・69	4・ 9・15 24・30・39 42・45・51 58・63・68	3・ 9・20 28・38	6・11・20 26・34
宮 崎	4・ 9・16 20・27・33 38・45・53 61・65・70	3・11・18 25・32・39 44・49・54 60・64・70	1・13・18 26・34	3・ 9・17 27・36

## 19. 様式規定（各様式は8月中にHPにアップしますので、ダウンロードして使用してください）

様式規定1 アナウンス・朗読部門原稿規定

1-1 表紙

1-2 原稿用紙

様式規定2 番組部門のラベル規定

様式規定3 テストパターン（カラーバー）

4：3仕様 16：9仕様

様式規定4 番組部門番組進行表

4-1 表紙（制作意図、スタッフ・キャスト）

4-2 CUEシート

4-3 使用著作物一覧

4-4 チェックシート

※様式規定4の一式はA4サイズ、左上をホチキスで綴じること。

また、両面印刷はしないこと。